

# 事業評価調書

◎基本情報

|             |  |  |  |            |        |          |       |
|-------------|--|--|--|------------|--------|----------|-------|
| 年度          | 令和3年   | 会計コード  | 10   | 一般         | 事業コード  | 38334    |       |
| 事業名         | みらいIT人材育成費   |  |  |            |        |          |       |
| 評価担当課       | 所属名  | 経)経済戦略推 イノベーション  |  |            |        |          |       |
|             | 課長名  | 吉田 泰斗  | 担当者名   | 有城 賢二      | 電話番号   | 211-2379 |       |
| 施策名         | 主  | 将来を担う創造性豊かな人材の育成・活用  |  |            |        |          |       |
|             | 副  |  |  |            |        |          |       |
| アクションプラン    | ● 対象 ○ 対象外   |  | 戦略ビジョン   | ● 対象 ○ 対象外 |        |          |       |
| 事業の性質       | ○ 経常経費 ● 臨時的経費   |  |  |            |        |          |       |
|             | ○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理   |  |  |            |        |          |       |
| 事業内容        | 実施形態   | ○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ● その他  |  |            |        |          |       |
|             | 目的   | 短期   | 市内IT企業等と連携しながら小学校～大学院生にITを産業活用の面から実践的に学ぶためのイベント等を実施することで、将来の進路としてのIT産業を意識させるとともに、自発的なIT学習を促す。          |            |        |          |       |
|             |  | 長期   | 本事業を通じて若年層が広くITへ取り組むきっかけとし、約4300億円の札幌のIT産業を維持拡大するための原動力とするとともに、あらゆる産業へITリテラシーの高い人材を供給し、札幌の産業全体の下支えとする。 |            |        |          |       |
|             | 取組内容   | 地場IT企業や大学との連携体制を構築し、若年層の自発的なIT学習の促進やITの高度利用ができる人材育成を推進するとともに、若年層の地場IT企業への理解を促進するイベント等を実施。<br>①市内小中学生を対象としたIT素養向上に資するイベント<br>②マイクラフトを活用した、プログラミングワークショップ<br>③高校生向けプログラミングワークショップ<br>④リードエンジニア発掘・育成プログラム<br>⑤プロジェクト支援補助金 |  |            |        |          |       |
| 実施結果        | ①小中学生向けプログラミング体験イベント「ジュニア・プログラミング・ワールド2022」を開催し、17社による19のワークショップとオンラインセミナーで合計906名が参加。<br>②「さっぽろのマチをマイクラフトでつくってみよう」を開催し、132名が参加。<br>③プログラミングワークショップ「G's CAMP YOUTH」を開催し、全道から28名が参加。<br>④リードエンジニア発掘育成プログラム「STAND OUT」を実施し、8チームの応募があり、5チームが採択された。 |  |  |            |        |          |       |
| 事業実施における工夫点 | 産学官連携の取組により、小中高大と広い範囲でのIT人材育成支援を効果的に実施できた。   |  |  |            |        |          |       |
| 対象者         | 小学生、中学生、高校生、大学生、大学院生、保護者、教職員   |  |  | 開始         | 平成31年度 | 終了       | 令和4年度 |
| 関連法令・条例・要綱等 | 「みらいIT人材」育成の推進に関する連携にかかる協定書  |  |  |            |        |          |       |
| 他都市の状況      | 沖縄県: Ryukyufrogs、LEAPDAY(民間協賛)<br>経済産業省: 未踏人材発掘・育成事業<br>総務省: 異能vation  |  |  |            |        |          |       |

◎事業費

(単位:千円)

|            | 令和2年度決算 | 令和3年度予算                         | 令和3年度決算 | 令和4年度予算 |  |
|------------|---------|---------------------------------|---------|---------|--|
| 事業費        | 9,985   | 20,000                          | 18,995  | 25,000  |  |
| うち特定財源     | 4,992   | 5,000                           | 4,000   | 5,000   |  |
| 人工         | 0.5     | 0.5                             | 0.4     | 0.4     |  |
| 人件費        | 3,600   | 3,600                           | 2,880   | 2,880   |  |
| 計(事業費+人件費) | 13,585  | 23,600                          | 21,875  | 27,880  |  |
| 事業費の内訳     | 令和3年度決算 | ■運営委託費 15,000千円<br>■補助金 5,000千円 |         |         |  |
|            | 令和4年度予算 | ■運営委託費 20,000千円<br>■補助金 5,000千円 |         |         |  |

◎検証(振り返り)

|                              |   |   |            |   |        |        |
|------------------------------|---|---|------------|---|--------|--------|
| 活動指標1                        | 指標名   | 小中学生向けイベントへの参加人数  |            |   |        |        |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度予定   | 令和3年度実績    | 令和4年度予定   |        |        |
|                              | 1996  | 3000  | 906        | 4000  |        |        |
| 活動指標2                        | 指標名   | 高校生向けイベントへの参加人数   |            |   |        |        |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度予定   | 令和3年度実績    | 令和4年度予定   |        |        |
|                              | 14  | 30  | 28         | 30  |        |        |
| 成果指標1                        | 指標名   | 市内大学の学部生・大学院生(工学部)の市内就職率  |            |   |        |        |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度目標   | 令和3年度実績    | 令和4年度目標   |        |        |
|                              | 23.20%  | 29.50%  | 22.80%     | 30%   |        |        |
| 成果指標2                        | 指標名   |   |            |   |        |        |
|                              | 令和2年度実績   | 令和3年度目標   | 令和3年度実績    | 令和4年度目標   |        |        |
|                              |   |   |            |   |        |        |
| 項目                           | 判定  | 理由  |            |   |        |        |
| 事業の成果<br>(目的をどの程度達成できたか)     | A   | 本事業を通じて、各種イベントやセミナーにIT技術に興味のある小中高生等延べ1066名の参加及び視聴があり、若年層の自発的なIT学習の促進やITの高度利用ができる人材育成に貢献することができた。エンジニア育成支援では、採択5者のうち、2者が起業に繋がるなどの成果があった。     |            |   |        |        |
| 事業規模<br>(事業ボリュームは適切か)        | A   | コロナ禍により、小中学生向け支援はオンライン開催とした。それでも、ワークショップは募集枠がすぐに埋まるものが多かったため、令和4年度では規模の拡充が必要と考える。高校生向け支援や大学生以上向けの支援については、事業規模は妥当と思われる。                      |            |   |        |        |
| 事業の実施手法<br>(事業の効率性、実施主体は適切か) | A   | 本業務の実施に当たっては、IT技術に対する知識や企業とのネットワークが求められることから公募型企画競争により受託者を決定した。これにより、受託者の有するノウハウを生かすとともに、札幌市でIT推進を行う団体や企業との連携による企画運営を行うなど、効率的・効果的に事業を実施できた。 |            |   |        |        |
| 対象者の満足度<br>(対象者のニーズに込えているか)  | A   | 小中学生向けイベントのアンケートで9割の方が「満足」との回答。<br>高校生ワークショップについては、10割が「大変満足」と回答。<br>リードエンジニア発掘・育成プログラムについては、8割が「満足」と回答。                                    |            |   |        |        |
| 市民参加の実施                      | <input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 |   | 市民参加結果への対応 | <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映 |        |        |
| 今後の改善点                       | 小中学生向けイベントでは、開催規模拡充やコンテンツの充実が必要。高校生向けワークショップ、エンジニア発掘・育成プログラムに関しては、広報と集客に苦労したところがあるため、募集時期、実施時期を毎年見直して、効果的な実施を探っていくこととしたい。   |   |            |   |        |        |
| 前回の評価                        | ● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし   |   |            |   |        |        |
| 今年度取り組んだ見直し内容                | 小中学生向けイベントを拡充している。  |   |            | 見直し効果額<br>(前年度)   | 0      | 千円     |
| 今回の評価                        | ● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし   |   |            |   |        |        |
| 評価の理由                        | 事業全体の満足度の高さや、エンジニア育成支援から起業家が出るなどで効果が見えたため。成果指標「市内大学の学部生・大学院生(工学部)の市内就職率」は長期的なものであるため、達成に向け、引き続き市内企業と連携しながら普及促進に努めていく。       |   |            |   |        |        |
| 次年度の取組の方向性・改善内容              | 事業内容  | ● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止<br>人材育成や人材確保の性質の事業を統合して、より効果的な実施を行うこととした。   |            |   |        |        |
|                              | 予算  | ● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他<br>本事業と「高度ITエンジニア確保支援費」を統合するとともに、札幌型エンジニアコミュニティ活動支援を拡充する。   |            |   | 見直し効果額 | 10,000 |